

門司シネマフェスタ

13回

門司市民会館まつり

35ミリ映写機できらめく銀幕のスタアたち



監督 井上梅次
出演者
石原裕次郎
北原三枝

嵐を呼ぶ男
12月9日(土)
上映 12:20~14:00

石原
裕次郎



森
雅之

浮雲
12月10日(日)
開場 10:00
上映 10:30~12:33

監督 成瀬巳喜男
出演者
高峰秀子
森雅之

監督 石井輝男
出演者
高倉健
南原宏治

網走番外地
12月10日(日)
上映 13:00~14:31

高倉
健



12月9日(土) 眠狂四郎殺法帖 / 嵐を呼ぶ男 12月10日(日) 浮雲 / 網走番外地

1日 前売 1000円 (映画2本+日替わりの小さなお弁当)
当日 800円 (映画2本鑑賞のみ)

前売券お取り扱い

門司市民会館／若松市民会館／小倉井筒屋プレイガイド
北九州芸術劇場プレイガイド（リバーウォーク北九州 5F）
シーモール下関一番街ラン
電話予約（門司市民会館 093-321-2907）

■当日お弁当を数量限定で販売いたします。■当日券・招待券でご入場の方は映画鑑賞のみとなりますので、お弁当は別途お買い求め下さい。

会場：北九州市立門司市民会館

JR門司港駅より徒歩13分／西鉄バス「レトロ東本町一丁目」より徒歩5分／「閨門トンネル車道口」より徒歩3分

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

[主催] 門司市民会館／共同企業体グループ A2K ／北九州優秀映画鑑賞推進事業実行委員会／国立映画アーカイブ【特別協力】文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会／東映株式会社／東宝株式会社【後援】北九州市／北九州市教育委員会

お問合せ：北九州市立門司市民会館（9:00～22:00） 北九州市門司区老松町3-2 TEL 093-321-2907 www.g-a2k.com/moji

市川雷蔵

12/9 土

[上映時間 10:30~11:51]

眠狂四郎殺法帖

[1963年大映(京都)]

カラー／シネマスコープ／81分

[原作]

柴田鍊三郎

[監督]

田中徳三

[出演]

市川雷蔵

中村玉緒

若山富三郎

小林勝彦

沢村宗之助

伊達三郎

荒木忍



…俺の剣が完全に円を描ききるまでに、お前は死ぬ。

「円月殺法」で有名な市川雷蔵の「眠狂四郎」シリーズ第一作。原作は柴田鍊三郎のベストセラー小説。

加賀百万石の前田が狙うのは、銭屋五兵衛が隠す仏像だった。その中には前田が失くした重要な書状が入っているのだ。仏像争奪戦に巻き込まれていく孤独な浪人、眠狂四郎…。

信仰を捨てた宣教師と武士の娘の間に生まれた混血児という出生の秘密をもち、虚無と孤独の影をひいて生きる剣士・眠狂四郎を、雷蔵が持ち前の端正な魅力を發揮して演じている。

可憐だが陰りのあるヒロイン・千佐を演じるのは若き中村玉緒。

市川雷蔵の代名詞ともなったこのシリーズは、1969年の『眠狂四郎 悪女狩り』まで計12本が作られた。

森雅之

12/10 日

[上映時間 10:30~12:33]

浮雲

[1955年 東宝]

白黒／スタンダード／123分

[原作]

林美美子

[脚色]

水木洋子

[監督]

成瀬巳喜男

[出演]

高峰秀子

森雅之

岡田茉莉子

山形勲

中北千枝子

加東大介

大川平八郎



名匠・成瀬巳喜男監督が林美美子の同名小説を映画化し、日本映画を代表する一作として語り継がれる名作。

戦時下の昭和18年、タイピストとしてインドシナへ渡ったゆき子は、妻帯者で技師の富岡と出会い恋に落ちる。妻と別れるという富岡の言葉を信じ、帰国して彼のもとを訪れたゆき子だったが、富岡は妻と別れられないばかりか、複数の愛人がいた。それでも富岡と別れられないゆき子。もう一度やり直そうと考えた二人は旅に出る…。

理屈では割り切れない男女の業と性を、冷徹なまでに妥協のない眼差しで描ききった成瀬監督の代表作。微妙な心の揺れを表現した高峰秀子と森雅之の演技は敬服すべきものがあり、小津安二郎をして「オレにできないシャシンは溝口の『祇園の姉妹』と成瀬の『浮雲』だ」と言わしめた。「キネマ旬報」ベストテン第1位。

石原裕次郎

12/9 土

[上映時間 12:20~14:00]

嵐を呼ぶ男

[1957年 日活]

カラー／シネマスコープ／100分

[原作・脚本・監督]

井上梅次

[脚本]

西島大

[出演]

石原裕次郎

北原三枝

金子信雄

芦川いづみ

白木マリ

岡田真澄

安部徹



石原裕次郎を一躍国民的スターにした大ヒット作。1958年のお正月映画として公開され、日活史上空前の大ヒットを記録した。

一流ドラマーを目指す正一（裕次郎）は銀座で評判の暴れん坊。弟の英次は兄を売り出そうと女流マネージャー美祢子（北原三枝）に頼み込む。ジャズドramaを目指す猛練習の中、正一と美祢子は互いに惹かれるものを感じ始める。そしていよいよドラマ合戦の日…。

指を負傷してドラムを叩くことができず、「おいらはドrama、やくざなドrama」と唄いだす場面は日本映画史に残る名シーン。

映画デビューして以来、一作ごとに着実に人気スターへの道を歩みつつあった裕次郎が、粗削りなドramaに扮してダイナミックな魅力を存分に披露し、大スターとしての地位を不動のものにした。

高倉健

12/10 日

[上映時間 13:00~14:31]

網走番外地

[1965年 東映(東京)]

白黒／シネマスコープ／91分

[原作]

伊藤一

[脚色・監督]

石井輝男

[出演]

高倉健

南原宏治

丹波哲郎

嵐寛寿郎

安部徹

待田京介

田中邦衛



“健さん”こと高倉健の人気を不動にした東映の人気シリーズの記念すべき第1作。

極寒の地、北海道・網走刑務所。橘（高倉健）は、妹や病身の母に再会することを夢見ながらまじめに服役しているが、前科五犯のしたたか者・権田（南原宏治）らにそそのかされ脱獄計画に巻き込まれてしまう。追手が迫る中、手鎌で繋がったままの橘と権田は、果てしなく続く大雪原を突き進んでゆく…。

雄大な北海道の大自然を背景に、アクション作品に定評のある石井輝男監督が高倉健を主演に迎え、長年温めていた題材をスクリーンに叩きつけた傑作。丹波哲郎、嵐寛寿郎、田中邦衛など、魅力的な俳優たちの競演も見所。また、高倉健の歌う哀愁に満ちた主題歌は、後に歌い継がれるヒット曲となった。